

セグロウリミバエが発見されました！

令和6年3月以降、沖縄本島地域（中北部）で、海外から侵入した農作物の害虫セグロウリミバエがトラップ調査により相次いで発見されています。本種が定着すると農作物に大きな被害を及ぼす恐れがあるため、防除を実施しております。皆様の**防除へのご協力をお願いいたします。**

体長8～9mm



セグロウリミバエ



体長7.5～9mm

ウリ科果実から
出てきたウジ(幼虫)

寄生する果実

ウリ類（ゴーヤー・ヘチマ・モーウイ・かぼちゃ・スイカ・メロン・トウガン・きゅうりなど）・その他



防除のおもな内容

1) 寄主植物の除去を行っています。

*家庭菜園や野生植物も対象となります。

*所有者の同意を得て行います。



畑での除去の様子

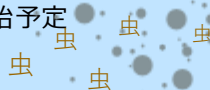


2) 寄生果発見地周辺で殺虫剤を散布します。

*人畜に対して安全性の高い薬剤を使用しています。

3) セグロウリミバエの不妊虫を大量放飼します。

※2025年6月順次開始予定



4) トラップや誘殺板を増設します。



セグロウリミバエと他のミバエ類の見分け方

セグロウリミバエと他の主なミバエ類

セグロウリミバエ
(翅に黒い斑紋なし)ウリミバエ
(翅に黒い斑紋がある)

ミスジミバエ

翅(はね)に、くさび型の黒い斑紋がないのがセグロウリミバエだよ！

※ウリミバエは1993年に根絶されていますが、海外からの侵入防止のため、現在でも不妊虫を大量に放飼しています。



- ▶ 北部農林水産振興センター農業改良普及課 : 0980-52-2752
- ▶ 中部農業改良普及センター : 098-894-6521
- ▶ 南部農業改良普及センター : 098-889-3515

セグロウリミバエのまん延を防ぐため・・・



家庭菜園をお持ちの皆様へのおねがい

①栽培の終了した作物は、速やかに片づけましょう

自然に生えたもの(ナンクルミー)やウリ科雑草も、できるだけ抜き取りましょう。



②不要な果実はビニール袋に入れて密閉し、虫が死滅してから地域のルールに従って処分しましょう



→厚手のビニール袋に入れてねじって固く縛り、ガムテープ等でしっかり閉じる

③地域外へのウリ科果実の持ち出しを控えるよう、お願いします



④家庭菜園では、できるだけウリ科野菜の栽培を控えるようお願いします

(多くが家庭菜園から見つかっています!)



⑤もしウリ類果実の中にウジ(幼虫)を見つけたらすぐに下記に御連絡下さい



詳しくはこちら!



沖縄県病害虫防除技術センター
ホームページ



連絡先

- ▶ 沖縄県病害虫防除技術センター : 098-886-3880
- ▶ 北部農林水産振興センター農業改良普及課 : 0980-52-2752
- ▶ 中部農業改良普及センター : 098-894-6521
- ▶ 南部農業改良普及センター : 098-889-3515